

健康経営の目的

健康経営で解決したい経営上の課題

すべての活動の源泉となる健康基盤を提供する組織として、業務を通じて健康に充ちた環境を構築することを通じ、地域の価値向上への貢献・サステナブルな社会の実現に寄与することを目指しています。そのベースとなる協会職員が最大限に能力を発揮するため、心身ともに健康で生き活きと働くことができる環境を構築することを重要課題としています。

健康経営の実施により期待する効果

健康経営の実践により、職員一人ひとりが働きやすさ・働きがいを実感しエンゲージメントが高まることで、組織の生産性・活力向上を見込んでいます。また、こうした環境のもと活動することが協会の社会的存在意義・組織的価値向上につながり、「選ばれる健診機関」としてあり続けることを期待しています。



※「選ばれる健診機関」

KPI：受診者数推移

(総合健康診断・定期健康診断・人間ドック・健康診査の受診人数合計)

2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
221,011	200,880	205,042	208,726	212,745	211,785

 (人)

2020年1月より
コロナ国内
感染拡大

2020年4月～5月
非常事態宣言により
健診事業一時縮小

2024年1月
能登半島地震

予想のつかない外部環境の変化のなかでも安定的に受診者数を確保